

令和6年11月6日

業務完了報告書

鳴門教育大学教員教育国際協力センター

日下 智志

1. 案件の概要

(1) 案件名

(和文) 国別研修アンゴラ「初等教育の質向上」コース

(英文) Strengthen Primary Education to Improve the Quality of Education

(2) 研修履行期間 令和6年8月28日～令和6年12月20日

(3) 研修期間 令和6年10月14日～令和6年10月25日

(4) 研修員数 7名

2. 研修内容（添付）

(1) 案件全体概念図

(2) 単元目標毎のカリキュラム構成

(3) 日程表（単元目標と関連付けたもの）

3. 案件目標（アウトカム）と単元目標（アウトプット）の達成度

(1) 案件目標（アウトカム）

日本の算数教育や算数カリキュラムおよび教科書の開発に関する経験を理解することを通して、自国のカリキュラムおよび教科書の改訂作業を改善することができるようになる。

指標： 研修員がカリキュラム改訂および教科書改訂に係るアクションプランを作成した。
研修後に研修員によって教育省及びそれぞれの所属組織の中で共有される予定になっている。

達成度： 提出された計画などにおいて、上記内容が明記されていることが確認された。

(2) 単元目標（アウトプット）

単元目標①： 初等算数カリキュラムと教科書における学習内容の配列を理解する。

指標： 算数カリキュラムと教科書における学習内容の配列に関する講義、およびそれを基にしたアンゴラのカリキュラム改定案の作成に当たって研修員の携わり方・貢献度について4段階評価でB（やや優れている）以上。

単元目標②：日本の例に基づいた小学校数学カリキュラムの改訂案を提案する。

指標：アンゴラの算数カリキュラム改定案の作成に関する実習における研修員の携わり方・貢献度、さらには作成された改定案の内容について4段階評価でB(やや優れている)以上。

単元目標③：アンゴラの算数教科書改訂に向けた教科書開発仕様書のドラフトを作成する。

指標：アンゴラの算数教科書開発の仕様書の作成に関する実習における研修員の携わり方・貢献度、さらには作成された仕様書の内容について4段階評価でB(やや優れている)以上。